



発行 KOA 森林塾 (事務局) 0265-70-7065
 編集 早川清志
 題字 島崎洋路

『あとは適度な湿度と愛情を』

第15回森林塾報告 テーマ「きのこの菌打ち」
 小春日和に恵まれた今年最後の森林塾「きのこの菌打ち」。すでに花粉症を発症している人もインフルエンザにやられていたり人も、もちろん元気な人も大勢参加してくれました。今回は、シイタケ・エノキ・クリタケの種



駒の植菌と短木栽培用ナメコのオガ菌の植菌です。原木は、上伊那森林組合にお願いして調達してもらったコナラと、昨年の森林塾Bコースの現場である小坂さんの山から切り出してきた各種の広葉樹が用意されました。

私たち「山造り承ります」

まずは種駒の植菌ですが、それぞれのきのこには原木との相性があるので、シイタケはコナラに、エノキはホオノキ・コシアブラ・シラカバ・サクラに、クリタケはクリとコナラに・・・。
 はてさて、コナラとサクラは大丈夫、シラカバも絶対間違えないけど、どれがホウノキ？これはコシアブラ？クリっていわれても・・・などと思いがらの仕分け班。
 ドリルで植菌の穴あけ班は、三センチ〜五センチくらい原木を回転させながら五・四・五・四・五・四と穴をあけるはずが、「ああな



ご兩人よろしいですか、い、いきますよ

ぜか六個穴あけちゃったよ」
 作業が進むにつれて穴あけにも慣れ、どんどんできあがる。穴あけ班に押されっぱなしの駒打ち班。種菌は純粹培養なので地面に落とすわけにはいかない。慎重に袋から種駒を取り出して穴に挿したら、あとは木槌で、打つべし、打つべし。こうして午前中には種駒の植菌は終了したのであります。

午後からは、怪しげなナメコのオガ菌の植菌。漬物樽にナメコ菌を放り込んだら、米ヌカとオガコを投入。水を加えながらコネコネして、耳たぶくらいの柔らかさに。短く伐った原木を二個一セットで持つてきて、パカッと開いてどちらかの木口にオガ菌をベタベタ。塗ってない方の短木をその上に乗つけてサンドイッチ状にすればできあがり。種駒を植菌した原木のきのこ収穫は来年の秋になるけれど、オガ菌を植菌した短原木は今年の秋には収穫です。



ざるは適度な湿度と愛情さえあれば、持ち帰って庭であらういはいはベランダで栽培しよう。注意間違って風呂場に専用棚な



コナラにはシイタケだよな～

コナラにはシイタケだよな～
 原木は今年の秋には収穫です。

今回の内容
 第15回 3月2日(土)
 きこの菌打ち
 8時30分 鳥崎先生の山小屋に集合。あいさつ。早いものでとうとう最終回になりました。きのこについて、菌打ちについての説明
 9時30分 菌打ち開始。まずはシイタケの種駒をコナラに打ち込む。つぎにエ



これが種駒か～

ノキダケをホオノキ、コシアブラ、シラカバ、サクランなどに。最後はクリタケをクリとコナラに。風見、溜、長坂の女性トリオも新規導入のシイタケドリルに慣れ、上手に使いこなしていました。丁度おなかもすいてきた頃

12時 昼食。2月26日に信越放送で放映された「信州大学放送講座」のビデオ上映
1時10分 午後の部開始。オガ菌を使ってナメコの短木栽培用の植菌。オガ菌に米ぬかとオガコを加えて増量し、水で耳たぶくらしいの柔らかさにした後小口にペタペタと貼る。そば打ち講師の菅先生が水回しを行い「手つきがさすが!!」と感嘆の声
2時10分 植菌終了
2時20分 13年度修了式。十回の皆勤が片岡さん、



杭ぞう作るにはこうやるだよ



まずは作業台を作らんきゃいけん



座」のビデオ上映
4時 記念写真のあと解散
参加者/上原さん、風見さん
菅さん、佐藤さん、溜さん、長坂さん、森さん、代表で長坂さんが保科先生から修了証の授与を受ける。たいていの方が十回以上の精勤。先生方のあいさつと、上原委員長の答辞。そのあと質疑応答や感想などあつて



さっきどこに穴あけたっけ？



機会あるごとに森林の現状を訴えて下さい

をつかう、森をつくる」というテーマで開催されます。十三時から三十分から長野県

長野県植樹祭が今年五月十八日(土)伊那市鳩吹公園で行なわれますが、これと時をあわせ、国民森林会議主催によるシンポジウムが「木を

イベント&トピックス



スタツフ/大野、椎原、平林、坂野、坪木、早川



われながらよく通ったよなあ～
講師/保科先生、島崎さん、栗林さん、佐藤(誠)さん、塩谷さん、溜さん、長坂さん、久部さん、藤野さん、逸見さん、松ノ元さん、松本さん、桃澤さん、森さん夫妻、三子麟太郎くん、山浦さん、渡辺さん、稲垣さん、芳賀さん、藤本さん、小川さん
菅さん、佐藤さん、溜さん、長坂さん、森さん、代表で長坂さんが保科先生から修了証の授与を受ける。たいていの方が十回以上の精勤。先生方のあいさつと、上原委員長の答辞。そのあと質疑応答や感想などあつて



伊那文化会館にて。第一部は田中県知事と島崎先生との対談「森林整備の新たな課題にどう応えるか」また第二部がデザイナーの小田原健氏、建築家の松下重雄氏、岐阜県立森林文化アカデミーの熊崎学長、林業家の速水亨氏と島崎先生とのシンポとなつていきます。これは必見ですぞ。
島崎先生が伊那口ータリークラブから顕彰を受けました。盾には「荒廃したわが国の森林の現状を憂い、長年にわたり数多くの山造りの担い手を養成するとともに、自ら地域の森林の再生を精力的に実践している活動に深甚なる敬意を表しこれを顕彰します」と述べられています。健康にご留意され、今後もご活躍されることを願って止みません。

リレー通信

「も」が世の中を変える!? 一年G組 椎原一三



「枯木も山の賑わいだに」先輩弟子、イントラー・Mさんから慰めとも励ましともつかぬお言葉をいただいでしまつた。

伊那谷へ押しかけて半年ほど経った或る日の森林塾の服のとき、「歳は取りたくねえやね」、「皆に迷惑かけちゃってるよなあ」「無理の利かなくなっている自分をあれこれボヤいていたところにグサツと、ガツンと。

枯木?この俺が枯木!?言われてみれば確かに。だけど未だ腐つてはいねえぞ。きのこ

が生えるまでにはまだまだだ。「も」か。「枯木も」か。「俺も」か。なんだか「も」という字に、妙に親しみを感じてしまった。初めて仲間に入れてもらえたような気がした。気が楽になり何だかとても嬉しくなった。

枯損木は伐倒対象の第一候補だったよな。いいでしょう。潔く切られましよう。薪になりましよう。次世代の為に肥やしになりましよう。最近間伐作業の選木もあまり迷わなくなつた。どんどん切る。「無駄にはしないからな」と倒れていく木達に、又自分にも言い聞かせながら。

島崎山林研修所には、「も組」というのがあるらしい。先輩弟子は皆器用な人達である。色々な資格、技術、一芸を持つている。俺も「も組」に入りたい。そば打ちでアピールしたがだめだった。年齢制限があるらしい。「概ね」も通用しなかつた。そのかわり

「じい組」はどうかと、又々I・Mさんだ。「爺組、辞意組、示威組、自慰組、G組のどれがいい?」いろいろ御託を並べて五者択一を迫られた。どれも抵抗があつたけど仕

方なくG組にしてみらつた。一年G組だ。一人しかない。でも学級委員長だ。平林さん、四月からG組においでよ。「概ね」でいいからさ。島崎山林研修所入り口の「山造り承ります」の看板に、いつ、誰の仕業か知らないが、「も」が書き加えられている。何故か気を引かれ出入りの度に見入つてしまふ。これが時にはくつきりと、時には霞んで見えたりする。不思議だ。

山仕事が生業として成り立つ日が早く来て欲しい。来なきやおかしい。大体今の世の中おかしい。どこか狂つてゐる。「消費は美德」だの、大量生産、大量消費、大量廃棄、使い捨てが常識かのように。人間まで使い捨てにされる世の中だ。物事の原点や本質を見失つてゐるとしか思えない。「アメリカナイズ」だど?ただのかぶれじゃねえか。早くかさぶた治して、古き良き時代の日本人を取り戻さなきや。

かく言う自分も少々かぶれて痒くてしょうがない。伊那谷、島崎山林研修所、KOA森林塾、山仕事、も組にその処方箋があるような気がする。物や人の心を大切にすることもそのひとつかも知れない。五十過ぎの親不孝息子。明治生まれのおぶくろに未だに言われている。「今の若えもんは勿体ねえちゅうこ

とを知らねえ」「今にバチが当たるぞ」全くそのとおり、バチが当たり始めてる。天に向かつて唾を吐いているようなもんさ。「一億総懺悔」なんという言葉はもう死語になつてゐるかも知れないが、皆が考え直す時じゃないかい?そこで提言。是非、国民の祝日に「山の日」を制定するべきだ。「海の日」が会つて、なぜ「山の日」がない!「山の日」には精々父ちゃんも、母ちゃんも、じいちゃんも、ばあちゃんも、兄ちゃんも、姉ちゃんも、赤ちゃんもという訳にはいかねえが、社長さんも、先生と言われている人たちも、もちろん俺も、皆こぞつて、ナタ、ノコ、カマ持つて近くの里山に入らうよ。植樹祭もあれでいいんかい?ダムも必要かも知れない。でも、もつと「転ばぬ先の杖」が大事じゃないかい?災害復旧に大金、労力をかけるよりも「転ばぬ先の杖」山の手入れに何故もつと金・人・智慧を出せないのだから。山も、川も、海も、街も、村も、人も、動物も全てが繋がつてゐるのに。皆の事なのに、皆の為なのに。

ま、枯木だの、Gだのが一人で力んだところで所詮「まめの歯軋りか田螺の戯言ぐらいにしか聞こえないだろ」が、今は、ただひたすら誠心誠意山と人に向かい合いたいと思つてゐる。

とを知らねえ」「今にバチが当たるぞ」全くそのとおり、バチが当たり始めてる。天に向かつて唾を吐いているようなもんさ。「一億総懺悔」なんという言葉はもう死語になつてゐるかも知れないが、皆が考え直す時じゃないかい?そこで提言。是非、国民の祝日に「山の日」を制定するべきだ。「海の日」が会つて、なぜ「山の日」がない!「山の日」には精々父ちゃんも、母ちゃんも、じいちゃんも、ばあちゃんも、兄ちゃんも、姉ちゃんも、赤ちゃんもという訳にはいかねえが、社長さんも、先生と言われている人たちも、もちろん俺も、皆こぞつて、ナタ、ノコ、カマ持つて近くの里山に入らうよ。植樹祭もあれでいいんかい?ダムも必要かも知れない。でも、もつと「転ばぬ先の杖」が大事じゃないかい?災害復旧に大金、労力をかけるよりも「転ばぬ先の杖」山の手入れに何故もつと金・人・智慧を出せないのだから。山も、川も、海も、街も、村も、人も、動物も全てが繋がつてゐるのに。皆の事なのに、皆の為なのに。



「ちょっと自己紹介」 平林 和彦

とうとう回つてきてしまいました。自己紹介を少々記しますのでしばらくお付き合い下さい。

私が森林との関わりを持つようになったのは、山歩きが好きでたびたび登るうちに、山そのものよりその山にある森や樹木自身に関心を持つよ

来春或いは再来春、保科先生、島崎先生がきつとこの枯木にも花を咲かせてくれると思つて?咲かせてください!も組にはおおもものがある。ちと手強いが、「伐倒・も組」も組を解散に追い込むために、ヨッ・スイGもガンバルぞ!!

山は厳しい。けど優しい。やましことはきつい。けど楽しい。

山が好きだ。関わる人も好きだ。

山も永遠なれ。

人も永遠なれ。

さて本文中「も」という字がいくつあつたでしょう。正しくお答え下さつた方の中から抽選で十名の方にG組特製「そば懐石」を先生の山小屋にてご馳走します。奮つてご応募下さい。

応募のべ切 この通信をご覧になつてから一週間以内にその他詳しくは左記へお問い合わせください。

記

〒399-0201 伊那市大字伊那 7008-1
島崎山林研修所
一年G組 椎原 一三
TEL 09087453098

うになつてからです。今から十年位前になるでしょう。か。そうこうしている内に日本の山林が荒廃しているといふことを知りました。我々の足元にある一見何の異常もない山林の多くは実際には荒廃しているという事実、少なからず驚かされました。熱帯雨林の危機だとかは折りに触れ耳にしていまして、自分の身の回りの森が荒廃しているとは思ひもありませんでした。先祖代々受け継がれてきた山林を我々の世代で、しかもたった数十年で荒廃させ途絶えさせてしまおうとしている現実に非常に大きな疑問を感じました。自分で何かをしたい。林業に直接携わつてみたいとの思いで島崎先生のとこに押し掛けてきてしま



ました。

会社は昨年九月に辞めました。(選択定年制度というのを活用して辞める半年前から休暇をもらってこちらでお世話になってきました)意外とあっさりと未練もなく辞められました。そして今の生活にとっても満足しています。きこりには定年はありません。いつまで働けるか判りませんが、体力の続く限り森林/山林の再生を目指して頑張っていこうと思います。でも気負いはありません。淡々と長く続けたいと思っています。

北欧では、きこりという職業は子供たちに大変人気があるそうです。自然の中で仕事ができ、森や自然に対する知識も豊富だからなのだそうです。日本でも将来是非そうなるってほしいと願いつつ、まだまだ駆け出しで随分先の長い話なのですが、いつかそういうきこり/山守になれることを目指して努力していきたいと思っています。幸いにも

森林塾の関係者には塾生の方も含めていろいろと教えてもらっている人がそろっていますので心強い限りです。

最近 ネイチャースキーなるものに凝っています。ネイ

が、要はスキーで楽しむ雪の森のハイキングといったところでしょか。ゲレンデを滑るのではないところがみそです。最近スノーシュー(西洋かんじき)をはいて歩く人も増えました(スノーシューも楽しいですよ)。私は五年ほど前から始めたのですが、その魅力にはまっています。

林業の現場はほとんど人工林ですが、自然林、天然林の中を自然と触れ合いながら歩くというのは中々なものです。それに野外でとる昼食はお酒を飲みながらもあって最高です。

では長野県のネイチャースキースポットでお勧めのポイントをいくつか紹介します。乗鞍高原：スタンダードコースともいえるべきネイチャースキーのメッカ。ツアーをよくやっています。一ノ瀬園地は平坦で初級者でも安心して歩けます。もつと標

高の高い乗鞍高原自然園(東大ヒュッテ付近等)は斜面が多く木々の間を滑って降りるには絶好です。観光センターにはレンタルスキーもありま

戸隠：森林植物園から牧場にかけての帯はネイチャースキーのメッカともいえるところ。ツアーの団体をよく見かけます。レンタルも可。奥社参道の杉並木(江戸末期に植えられたそうです)を始め巨木もたくさんあります。鏡池から見る戸隠連峰は迫力満点です。

北八ヶ岳：とにかく眺めのいい所です。三百六十度の大パノラマが楽しめます。晴天率が高いのもお勧め。編枯山(編枯れ現象が見られます)雨池、麦草峠、白駒池等標高二千メートルを超えるコースです。ピラタス横岳ロープウェイを使うとアクセスが大変楽です。健脚向きにはメルヘン広場から麦草へのコースがお勧め。

上高地：喧騒の中の上高地しか知らない人が多いと思いますが、冬場の上高地はとても静かです。眼下に迫る穂高連峰。静かにたたずむ大正池/梓川。真っ赤に染まる上高地やなぎ。アクセス静かなのですが、駐車スペースを確保するのに苦労することが難点です。ヘッドラ

イト(懐中電灯)が必携です(釜トンネルは真つ暗)。大正池まで約一時間、さらに河童橋まで約一時間です。元気があれば神辺りまで足を伸ばしましょう。

他にも、梅池自然園、美ヶ原高原、霧ヶ峰高原(八島湿原)等いいところはたくさんあります。皆さん是非一度試してみませんか。

お知らせ

平成十四年度の募集を開始しました。通年コース(従来のAコース)は四月十日締め切りのため、専門コース(経験者のためのステップアップコース・新設)は三月二十八日が締め切ります。お問い合わせは事務局まで。

コラム

二ヶ月ぶり、そして今年度最後の森林塾は三月になったばかりにしては暖かすぎる陽気でした。春はまだ二回目なので昨春としか比べようがないのですが、冬の降雪量も明らかに昨年よりは少ないし、気温も高かったように感じます。そして何より私にとつて春の到来を身をもって知る花粉症の症状も昨春より二週間以上早く始まりつつあります。伊那では杉の木はあまり見られませんが、裕に百

キ口は飛ぶといわれる花粉は南信より南風に乗って伊那まできつちりたどり着くようです。伊那へ来て少しは症状が軽くなるかと期待していましたが、あまり効果はありませんでした。都心部よりも時期が一ヶ月ほど遅れるので、梅・桃・桜とこれから一気に訪れる花見の時期から五月の連休あたりまで一番外出したい頃に重なり新たな悩みの種となりました。それでも厳しい寒さの後に迎える春は、目と鼻を真っ赤に腫らしてでも肌で感じたいものです。

伊那での生活も一年半が過ぎました。そのうちの三分の二を占める一年のうちの数日を森林塾と過ごさせていただけました。今回、最終回を迎えて次年度の募集案内を手配して行かれたわけですが、何人の方とまたお会いできるのかな?遠方より通われた方は地元でこの一年に続く活動を...というお気持ちがあるよう、伊那でまかれた種が日本の各地に芽を出していくのです。何だかすこい!!私にとつて地元は伊那になるわけだから、しつこく次年度も塾へ参加しながらどこかに芽を出せたらいいなあ...

新しい人との出会いを楽しみに、出会えた皆様に感謝またどこかで。
(テッカマン)

おわりに

島崎先生の通われている岐阜県は今シーズンは大雪で、スギなどかなりの被害が出たそうなのですが、こちら伊那谷は雪も少なく暖冬でした。などと油断していると湿った重い雪(こちらではカミ雪といいますが)がドンと降ることがあるのでもう半月くらいは注意を怠れませんが、サクラの開花も例年より早く、高遠でも四月の上旬には咲くという予報が出ました。暖かくなるのが待ち遠しいですね。

昨年の四月の終わりにスギの植林をしてからもう一年近く。早いものです。森林塾から何かを持ち帰っていたのでしようか。遠くから万難を排して通ってくださった「甲斐」はあったでしょうか。いつも自問です。

十四年度の案内でできましたので、ご都合にあわせ、無理のない範囲でおいでいただければ幸いです。

投稿大歓迎。ご意見、ご質問、ご要望、事務局まで。 TEL 0265-70-7065 FAX 0265-70-7994 E-mail: ki-hayakawa@koanet.co.jp sh-sakano@koanet.co.jp mi-tsuboki@koanet.co.jp 携帯:0902-53-26375 (開催日) H.P.http://www.koanet.co.jp

